



ポイント(2)

高い拡張性・互換性

ポイント③

オープンデータによる

イノベーション創出

ポイ

3D都市モデルの整備・活用・オープンデータ化プロジェクト「PLATEAU」: プロジェクトのポイント

PLATEAUの3D都市モデルは高い拡張性・互換性を持ち、様々な分野での活用が可能

	■ PLATEAUの標準データモデルには国際標準化団体OGCが策定し
	た「CityGML 2.0」を採用。これにより、3D都市モデルは都市の三
ント①	次元形状に加え、 <u>建物の用途や構造等の意味情報を保持可能</u> 。
タ特性	■ 「カタチ」だけでなく「音味」も今めてデータ化できる占が 占群や

- 「<u>」」タチ」に)でなく「意味」も含めてナータ化できる</u>点か、点群や Google Earth等の従来の3Dデータと異なる(BIMの都市スケー ル版)。
- CityGMLは<u>高い拡張性</u>を有しており、都市計画や災害リスクなど 用途に合わせて日本独自の情報を追加可能。これを利用し、 PLATEAU標準仕様を日本版標準データモデルとして策定。
 - CityGMLは確立された国際標準規格であるため、BIMなどの多様 な分野のデータとの連携・交換やソフトウェア対応が可能。
 - 全国の3D都市モデルのデータは二次利用等が可能なオープンライ センスを採用し、「G空間情報センター」で一般に公開。自治体、民間 企業、大学等の様々な分野で活用事例が生まれつつある。
- 地方自治体職員向けのガイダンスから、民間企業、研究機関、エンジ ニア向けの技術資料、ソースコードまで<u>幅広く知見を公開</u>することで、様々な主体の参画を促進し、オープンイノベーションを創出。





GOOD DESIGN AWARD 2021



3D都市モデルの整備・活用・オープンデータ化プロジェクト「PLATEAU」:3D都市モデルの整備・更新スキーム



低コスト、汎用的、均質なデータ整備スキームの確立により、地方公共団体への波及を促進

- 1. 既存資源を有効活用した整備・更新
- 3 D都市モデルの基本的なデータソースは①都市計画基本図(基盤地図情報)、②都 市計画基礎調査、③公共測量成果(航空写真又はLP)の「3点セット」。
- いずれも地方自治体により(3D都市モデルの有無に関わらず)定期的に収集・作成されているデータから整備することが可能(追加のデータ取得費用は不要)。

2. 安価な整備を可能とする自動生成技術の開発

- 収集したデータから3D都市モデルを立ち上げる作業(モデリング・属性情報付与)の自動化技術 は確立済であり安価に整備可能(LOD1)。
 - ※ LOD1は「垂直避難健物の可視化」、「浸水シミュレーション」、「都市構造分析」など、基本的なユースケースに活用される。
- LOD2自動生成ツール(2022年度開発)をはじめ、モデリング等の効率化に資する技術開発を都市局事業で推進。
- 3. ユースケースの定着の取組による自治体の自律的な整備・更新
 - 自治体にとって活用ニーズが高い防災ユースケースに必要な災害リスク情報は国土交通省 が公開している浸水想定区域図等を利用することでほぼ自動で付与可能(標準仕様として定義)。
 - 防災分野等での3D都市モデルの活用が定着することで、自治体による3D都市モデルの 自律的な更新が見込まれる。

二次元平面図形(外形データ) 4) 品質評価 品質評価 品質評価 高さ情報 付与 用途:一戸建て住宅 關数:2開 (1)H : 180m 都市計画基本図等 測量データ等 都市計画基礎調査等 LOD 1 LOD 2 LOD 3 LOD 4 建物+高さ情報 <箱モデル> + 层根形壮 +外構(開口部) +室内(BIM/CIM) 建物の箱型モデル - 建物の屋根形状表現 建物の外構(窓、ドア) BIM/CIM等の建物内部 までのモデル化 自動運転、ドローン配送 高さ情報を活用した - 黒細シミュレーション 屋内外のシームレスな 各種Simulationが可能 都市計画・建築規制の検討 - 建築計画の検討等 シミュレーション

2) 属性の追加



1) 建築物の幾何オブジェクト

◆ 岡谷市防災ガイド3D

3) CityGML形式への出力

3D都市モデルに建物単位の 浸水深等を属性情報として付 与して、都市全体の災害リスク を可視化。

3D都市モデルの整備・活用・オープンデータ化プロジェクト「PLATEAU」: 3D都市モデルの活用(ユースケース開発) 防災、環境・エネルギー、まちづくり、モビリティ等の多様な分野で活用事例(ユースケース)を

ALATEAU 創出し、地域課題の解決に貢献

防災政策の高度化

✓ 災害リスクのわかりやすい可視化による防災意識の向上に加え、都市スケールの災害リスク分析を行うことで地方公共団体の防災政策の高度化を実現する。

Case 垂直避難可能な建物の可視化を踏まえた防災計画検討(福島県郡山市) 災害リスクを3次元化し、建物データ(高さ、階数、構造等)と合わせて分析すること で、都市スケールで「垂直避難」可能な建物をピックアップ。防災指針の検討等に活用。

Case 災害廃棄物量シミュレーションによる災害廃棄物処理計画の検討(神奈川県横浜市) 災害時の家屋損壊等によって生じる「災害ゴミ」の数量算出のため、建物体積や構造 等を考慮したシミュレーションを開発。自治体の災害廃棄物処理計画の検討に活用。

カーボンニュートラルの推進

✓ 建物屋根の太陽光発電量の精緻なシミュレーションを実施し、太陽光パネルの最適 配置など、地域脱炭素を実現。

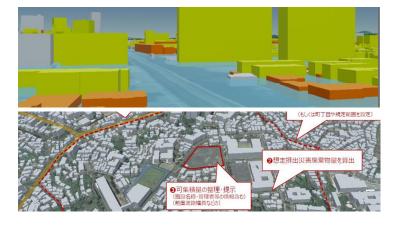
Case 太陽光発電ポテンシャルのシミュレーション(石川県加賀市)

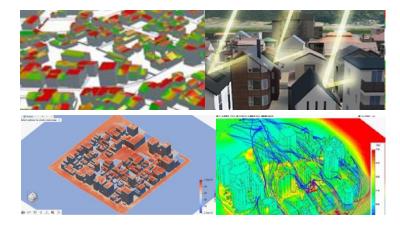
屋根形状を再現した3D都市モデルに、気象データ(日照)を重ね合わせて、建物ごとの太陽光発電ポテンシャルをシミュレーション。地域脱炭素施策の立案に活用。

Case 熱環境シミュレーション(愛知県名古屋市)

気候変動、ビル間の通風、ビル排熱等を考慮したエリア単位の熱環境をシミュレーション。再開発や緑化シナリオごとの影響を評価した空間設計に活用。

Copyright © 2024 by MLII. All rights reserved.







by MLIT

3D都市モデルの整備都市リスト(R6年度末約250都市)※赤字は令和6年度新規整備予定都市

北海道	加須市	昭島市	相模原市	伊東市	豊田市	太地町	福岡市
札幌市	春日部市	調布市	横須賀市	島田市	安城市	鳥取県	大牟田市
室蘭市	越谷市	町田市	鎌倉市	富士市	日進市	鳥取市	久留米市
更別村	蕨市	小金井市	厚木市	磐田市	三重県	米子市	飯塚市
青森県	戸田市	小平市	箱根町	焼津市	四日市市	境港市	宗像市
むつ市	志木市	日野市	新潟県	掛川市	伊勢市	日吉津村	古賀市
岩手県	新座市	東村山市	新潟市	藤枝市	熊野市	島根県	うきは市
盛岡市	久喜市	国分寺市	長岡市	御殿場市	滋賀県	松江市	筑前町
宮古市	八潮市	国立市	加茂市	袋井市	長浜市	益田市	佐賀県
<mark>宮</mark> 城県	富士見市	福生市	上越市	下田市	京都府	隠岐の島町	鳥栖市
仙台市	三郷市	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	富山県	裾野市	京都市	岡山県	武雄市
秋田県	蓮田市	東大和市	高岡市	湖西市	大阪府	岡山市	小城市
大館市	吉川市	清瀬市	石川県	伊豆市	大阪市	倉敷市	大町町
福島県	幸手市	東久留米市	金沢市	御前崎市	堺市	備前市	江北町
福島市	鶴ヶ島市	武蔵村山市	加賀市	菊川市	豊中市	広島県	白石町
郡山市	伊奈町	多摩市	山梨県	伊豆の国市	池田市	広島市	長崎県
いわき市	白岡市	稲城市	甲府市	牧之原市	高槻市	呉市	佐世保市
白河市	三芳町	羽村市	長野県	東伊豆町	河内長野市	竹原市	松浦市
相馬市	毛呂山町	あきる野市	松本市	河津町	和泉市	福山市	波佐見町
南相馬市	宮代町 宮代町	西東京市	岡谷市	南伊豆町	柏原市	府中市	熊本県
茨城県	杉戸町	瑞穂町	諏訪市	松崎町	羽曳野市	三次市	熊本市
つくば市	松伏町	日の出町	伊那市	西伊豆町	摂津市	海田町	荒尾市
鉾田市	千葉県	檜原村	茅野市	函南町	東大阪市	山口県	玉名市
追 境町	千葉市	奥多摩町	佐久市	清水町	忠岡町	周南市	益城町
栃木県	木更津市	大島町	安曇野市	長泉町	兵庫県	徳島県	大分県
宇都宮市	茂原市	利島村	岐阜県	小山町	姫路市	徳島市	日田市
群馬県	柏市	新島村	岐阜市	吉田町	加古川市	香川県	臼杵市
前橋市	八千代市	神津島村	大垣市	川根本町	三木市	高松市	宮崎県
桐生市	東京都	三宅村	美濃加茂市	森町	朝来市	さぬき市	延岡市
館林市	特別区(23区)	御蔵島村	静岡県	愛知県	たつの市	愛媛県	鹿児島県
埼玉県	八王子市	八丈町	静岡市	名古屋市	奈良県	松山市	南さつま市
さいたま市	立川市	青ヶ島村	浜松市	岡崎市	奈良市	東温市	沖縄県
熊谷市	武蔵野市	小笠原村	沼津市	豊橋市	和歌山県	高知県	那覇市
川口市	三鷹市	神奈川県	熱海市	春日井市	和歌山市	いの町	
所沢市	青梅市	横浜市	三島市	豊川市	田辺市	福岡県	
rrigle	府中市	川崎市	富士宮市	津島市	すさみ町	北九州市	

4

活動状況や入会はPLATEAUウェブサイトへ
https://www.mlit.go.jp/plateau/consortium/



PLATEAUコンソーシアム

団体名

活動内容

PLATEAUコンソーシアム

(正式名称:3D都市モデルの整備・活用・オープンデータ化促進に関する産学官連携協議会)

- 幅広い事業者・団体から会員を募り、産学官の技術開発やユース ケース開発の成果報告などの情報共有やコミュニケーションを支援
- ユーザー(事業会社や自治体)のニーズとソリューションカンパニー (ベンダーやコンサル)や大学・研究機関のシーズのマッチングを促進
- プロジェクト活動によって生まれた成果物(データ・OSS等)の共有、
 発信、相互活用の促進
- 技術開発やユースケース開発、データ利用環境整備等の今後の取組の方向性についての討議





Copyright © 2024 by MLIT. All rights reserved.